

平成 30 年度 境町の財政健全化比率・資金不足比率

健全化判断比率

比 率 名	平成 30 年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	0.0%	14.49%	20.0%
連結実質赤字比率	0.0%	19.49%	30.0%
実質公債費比率	15.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	107.3%	350.0%	

※ 赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は 0.0%と表示しています。

会計別資金不足比率

比 率 名	平成 30 年度特別会計別決算			経営健全化基準
	公共下水道事業	農業集落排水事業	水道事業	
資金不足比率	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%

※ 資金不足額がないため、資金不足比率は 0.0%と表示しています。

財政の健全度を判断する各指標

1. 実質赤字比率
一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模（※）に対する比率
2. 連結実質赤字比率
全会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率
3. 実質公債費比率
一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率
4. 将来負担比率
一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
5. 資金不足比率
公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率

※ 標準財政規模

地方公共団体が自由に使える財源（一般財源）の標準的な規模を表します。

上記のとおり、平成 30 年度決算に基づき算定された健全化判断比率及び資金不足比率は、いずれも早期健全化基準及び経営健全化基準を下回っている。

ただし、健全段階ではありますが、依然として厳しい財政状況は続くと思われるので、より一層の財政健全化に努めます。